

【科目名】 作業療法学概論		【担当教員】 氏名 栗原トヨ子 北上 守俊 田中 善信、長谷川 裕 (メールアドレス) kurihara@nur.ac.jp (オフィスアワー) 来学時に対応						
【授業区分】 専門分野 (基礎作業療法学)	【授業コード】 4-21-0795-0-1							
【開講時期】 1 年次 後期	【選択必修】 必修							
【単位数】 1	【コマ数】 15 コマ							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 講義および小グループ編成によるディスカッションや模擬体験等を行いながら講義を進める。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 特になし								
【講義概要】 (目的) 身体障害、精神障害、発達障害、老年期障害、地域における作業療法の専門的知識と技術の概要及びそれに伴う法律や制度を理解し、作業療法の全体像を学修することを目的とする。 (方法) 講義、グループワークで実施。								
【一般教育目標(GIO)】 ・作業療法の歴史について概略を述べることができる。 ・作業療法の理念について概略を述べることができる。 ・作業療法の実践について、場所、対象、内容の概略を述べることができる。 ・作業療法理論のいくつかを述べることができる。 【行動目標(SBO)】 ・専門職としての作業療法の現状を理解し、ディスカッションに参加できる。 ・臨床見学実習における自己課題の設定をすることができる。								
【教科書・リザーブドブック】 「作業学」ゴールドマスター・テキスト 第1巻 「作業療法概論」メジカルビュー社 4200 円＋税 その他必要に応じて資料配布								
【参考書】 資料配付の他必要に応じて指示する								
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) ・評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。								
【達成度評価】	試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70		10	10	10			100 点
評価指	取り込む力・知識	50						50
	思考・推論・創造の力		10					10
	コラボレーションとリーダーシップ							

平成 26～28 年度入学者用

標	発表力								
	学修に取り組む姿勢	20			10	10			40
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法			学修課題(予習・復習)		時間(分)		
1	オリエンテーション 作業療法を学ぶにあたって (講義概要・方法・スケジュール)	講義			オリエンテーションで提示				
2	作業の意味と範囲 作業の必要性について 作業療法とは	講義			次回のテーマについて 予習		60分		
3	作業療法の歴史(国外)	講義 グループ討議			次回のテーマについて 予習		60分		
4	作業療法の歴史(国内)	講義 グループ討議			次回のテーマについて 予習		60分		
5	作業療法士法と作業療法士協会の倫理要領	講義 グループ討議			次回のテーマについて 予習		60分		
6	作業療法の対象、場所、方法	講義 グループ討議			次回のテーマについて 予習		60分		
7	作業療法部門運営に関連する管理・運営 および 記録・報告 の基礎	講義 グループ討議			次回のテーマについて 予習		60分		
8	建築障害と障害体験 学内および大学周辺の建築物の利用	講義 体験学習			分析レポート作成		60分		
9	建築障害と障害体験 学内および大学周辺の建築物の利用	講義 体験学習			分析レポート作成		30分		
10	体験後のセミナー	グループ討議 発表			分析レポート作成		30分		
11	作業療法の実際 I (北上) 身体障害領域の作業療法(対象と方法)	講義 グループ討議			課題レポート作成		30分		
12	作業療法の実際 II (長谷川) 精神障害領域の作業療法(対象と方法)	講義 グループ討議			課題レポート作成		30分		
13	作業療法の実際 III (田中) 発達障害領域の作業療法(対象と方法)	講義 グループ討議			課題レポート作成		30分		
14	作業療法の実際 IV 老年期障害の作業療法(対象と方法)	講義 グループ討議			課題レポート作成		30分		
15	作業療法の実際 V 地域作業療法(対象と方法)	講義 グループ討議							

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。